

# (胃内視鏡検診の有効性評価に関する比較対照試験) に関する研究のお知らせ

帝京大学医療技術学部は以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: (2019年10月17日) ~ 2026年3月31日

## 〔研究課題〕 胃内視鏡検診の有効性評価に関する比較対照試験

### 〔研究目的〕

2016年から、胃がん検診の新たな方法として胃内視鏡検診が厚労省指針に追加されました。新たな検診システムを構築するため、胃内視鏡検診の有効性評価のためのコホート研究を行います。

### 〔研究意義〕

胃内視鏡検診の科学的根拠は観察研究が主であることから、その根拠は脆弱です。今後、全国に胃内視鏡検診を展開するために、その根拠を確固たるものとする必要があります。引き続き研究を行うことで、胃内視鏡検診の科学的根拠を盤石なものとすることを目的としています。

### 〔対象・研究方法〕

2012~2016年度に満61歳であり、2年間受診歴のないものに新潟市の胃内視鏡検診の定期勧奨を行い、研究検診参加群とします。同年代の研究検診非参加群、2008~2011年度に満61歳で同年直近2年間の胃がん検診受診歴のないものを対照群とします。研究検診非参加群と、対照群と比較した研究検診群の胃がん罹患率、胃がん死亡率、全死因死亡率の相対リスクを算出します。以上の解析は帝京大学で行います。一部のデータについては、AMED研究「個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究」(宮城県対がん協会倫理審査委員会承認)と合わせて宮城県対がん協会で解析します。

### 〔研究機関名〕 帝京大学医学部医療技術学部看護学科・新潟市医師会・宮城県対がん協会

### 〔個人情報の取り扱い〕

新潟市医師会にて保管の解析に用いるためのデータは、照合が完了した時点で匿名化を行います。照合作業は新潟市医師会内視鏡検診研究事務局で行い、個人情報付きデータ(氏名、電話番号などの連絡先、住所については番地なし、生年月日については生年月までに限定するなど)は同室からは持ち出しません。なお、匿名化は連結可能とし、各地域の対応表は新潟市医師会内視鏡検診研究事務局で保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者: 帝京大学 医療技術学部 看護学科 教授 濱島ちさと

研究分担者: 労働衛生医学協会プラーカ健診センター 成澤林太郎

住所: 東京都板橋区加賀2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 45202]